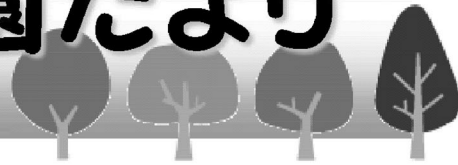


旭川敬老園だより



第87号

岡山市北区祇園866
特別養護老人ホーム
旭川敬老園
発行責任者 森 繁樹
電話 (086) 275-4349



結びの園にて太陽の光を浴びながらティータイム

旭川敬老園の昨日・今日・明日

～五十周年を控えて～

園長 森 繁樹

旭川敬老園が開設されたのは昭和四十三(一九六八)年五月であり、もうすぐ五十周年を迎えます。振り返ってみると、私が最初に園長を拝命したのが平成十三(二〇一〇)年四月のこと、それから既に十六年が経過しました。また、その際に建て替えた現在の個室ユニット型の施設が完成したのが平成十七(二〇一四)年三月のことであり、それからだけでも十二年が経過しています。

これから記念誌等の発行も考えて行く必要があるため、古い写真の整理や確認をしています。改めて思うことは、本当にこれまで多くのお年寄りの暮らしを支え、その命を見送ると共に、また多くの人に支えられてきたのだということです。また、私の存じ上げない大先輩達も含め、とても多くの職員の働きによって、この施設、この仕事が続いてきたのだと、改めて気づきました。

ある時、故江草名管理事務長が「昨日の今日はない、今日の明日はない」という言葉を述べた上で、歴史を大切にすることと明日を見据えて今日を大切にすることを双方の観点が必要だとおっしゃいました。初期の頃に旭川敬老園で暮らしていた人や働いていた人たちには、まさか将来、全ての人が個室が用意され、立派な機械や設備に囲まれた生活環境の中で、百歳を超える人も珍しくない時代が来るとは、想像できなかったらうと思われまふ。少しでも古くなった旭川敬老園の利用者や職員と一緒に写る、ちょっとしただけ若い自分の写真を見て、こうして自分も歴史になつていくのだと感じます。

今、高齢者介護の仕事を取り巻く現実には厳しいものがあり、先行きは全く不透明です。しかし、これから先、わが国における社会の高齢化はますます進展し、高齢者介護の仕事がさらに重要な意味を持つてくることは間違いありません。五十年という歩みの中でも、決して順風満帆な時期ばかりが続いたわけではないはずで、「明けぬ夜はない」という言葉を信じ、少しでも次の世代に良いものをバトンタッチし、さらにもう五十年の時間の積み重ねができるよう、今の私たちにできることを頑張っていこうと思

ショートステイ通信



ショートステイご利用者さんが十一月に旭川敬老園で収穫した柿で干し柿作りをしてくださいました。皆さんで話をしながら楽しんで柿の皮をむいてくださいました。干し柿をつくる場所のアドバイスを聞き、職員が干し柿に干した後も「ちゃんとしてきてるかな」と気にかけて職員に声をかけてくださる方もおられました。一月頃おいしくできた干し柿をご利用者様皆さんで召し上がっていただきました。また、出来上がった干し柿は、今年のお正月飾りとしても活躍しました。

2～3月の行事予定

2月8日
らーめん会食

3月8日
ひなまつり会食

その他、月に2回ずつ書道・華道・手芸クラブ・音楽療法・絵画クラブを開催しております。映画の上映は毎週金曜日です。

詳しいクラブ活動の日程・活動内容等につきましては、お気軽に職員へお問い合わせください。

百歳のお祝い



平成二十九年一月三十一日、守谷弥壽子様が百歳のお誕生日を迎えられ、当日はご家族と職員でお祝いの会を開きました。岡山市からもお祝いの品物等が贈呈されました。表彰式が始まる前から、とても緊張した面持ちだった守谷様も、式後のご家族とのお茶会の場では、表情が緩み、楽しいひと時を過ごされていました。ユニットに帰って来られた際には、「今日はええ日じゃった。もつたない。」と素敵な笑顔を見せて下さいました。これからも、守谷様がお元気で長生きされます事を願っております。

★クリスマスプレゼント

平成二十八年十一月二十五日に今年も、神戸海星女子学院小学校の保護者様からクリスマスプレゼントとメッセージカードを頂きました。毎年、工夫を凝らしたプレゼントを入居者一人ひとりに優しく声をかけて手渡して下さっています。寒い時期にも関わらず遠方まで足を運んで下さり感謝しています。ありがとうございました。



★ふうせんバレー

週に一回、風船バレーを行っています。風船は落ちるスピードが遅くて軽いので体の負担も少なく、動きも単純で分かりやすいので比較的簡単に参加し楽しむことができます。時には実習生も参加し、入居者さんより先に、ついつい手を出してしまうことがあります。それほど楽しくなってしまうのです。いつも腕を動かすと痛い痛いと言っていた人がパッと手を頭の上まで手を上げて風船を打ったり、足で体を支えられない人が風船を蹴ったり、声をかけてもじっとしている人が、他の参加者と一緒にはしゃんだり、運動とコミュニケーションをとるいい機会になっています。



医療福祉学会

平成二十八年十二月一日、二日に第三十四回旭川荘医療福祉学会が開催され、旭川敬老園からは次の三題を発表しました。発表内容につきましては、後日、旭川敬老園のホームページにも掲載予定です。是非ご覧ください。

◆ICFの視点から適切な能力評価と意欲に繋げる支援

◆個別支援の重要性～介護の専門性から考えるその人らしい生活の支援

編集後記

今号では、昨年十月以降の旭川敬老園の行事を中心に紹介をしました。その中で、新年のご祈念の様子もお伝えしました。普段、なかなか神主さんのお話しを聞く機会が少ない中で、職員も身の引き締まるひと時でした。今年も一年良い年にしたいものです。

特集テーマ ゆく年・くる年

家族会大掃除・ 家族会前田会長の退任

12月21日(水)10時より、旭川敬老園家族会主催の年末大掃除が行われました。大掃除に先立ち、この度、長年にわたり会長職を務めていただきました前田会長が退任となり、ご挨拶をいただきました。前田会長にはお仕事の傍ら、家族会の運営にご尽力いただき大変感謝しております。本当にありがとうございます。なお、平成29年5月に予定(日程未定)しております、平成29年度第1回家族会総会までは、会長不在のまま現在の副会長である林様が、会長職を代行する形で、家族会を運営していく予定です。

大掃除は、年末のお忙しい時期にもかかわらず、57名のご家族の方にご参加いただきました。各ご家族の居室を中心に床や窓、水回りなどお掃除していただきました。今回、ご家族の参加が難しかった方の居室は、職員が掃除をさせていただきました。お陰様で、皆さん新たな気持ちで新年を迎えられたことと思います。ご参加・ご協力ありがとうございました。

おでん会食

平成28年10月12日、地域交流ホールにて、おでん会食を行いました。お酒を楽しまれた方もおられました。土鍋に入ったアツアツのおでんを食べ、みなさん「お腹いっぱい。」と言われ、満足された様子でした。101歳の藤原孝子様も「美味しいわ～」と喜ばれていました(写真右下)。少しずつ寒くなってきての昼食会だったので、体はもちろんのこと、心もポカポカ温まったと思います。利用者の方との昔話にも笑顔の花がさき、職員の私たちの心もポカポカになったひと時でした。カトレア会の皆様、ご協力ありがとうございました。



忘年会

平成28年12月21日、入居者忘年会が開催されました。入居者、ご家族の皆さんで鍋を囲み、楽しく会食されました。お酒を飲まれる入居者の方もおられ、赤ら顔で笑っている姿が印象的でした。103歳になる藤原美子様もビールを飲まれ笑顔がこぼれました(写真左下)。入居者、ご家族の皆さんと和やかなひと時が過ごせたのではないのでしょうか。また、有志で1階の入居者大野様の息子様とお仲間によるバンド演奏があり、大変盛り上がりました。入居者、ご家族、ボランティアの皆さんのおかげで、今年も無事に忘年会を開催することができたことを、職員一同心より感謝しています。



新年のご祈念

平成29年1月14日15時～新年のご祈念をとり行いました。昨年に引き続き、神主の矢木様に来園していただき、約40名の入居者の方が地域交流ホールにおいて参加されました。入居者と職員それぞれ1名ずつが玉串を奉納し、健康と平安を祈念しました。矢木様より、「旅人」という話をお伺いしました。周りの人や環境を思い通りに変化させることは難しいが、自分自身が物事のとらえ方や人との関わり方を変化させることは可能という内容でした。また、職員に対しては、「入居者のご先祖様に喜ばれるような介護を。」とお言葉をいただきました。

終了後、各階それぞれの中央ホールを回ってくださり、お祓いをしていただきました。

厳粛な雰囲気の中でのお正月行事となりました。



2017年 酉年 年男・年女 紹介

96歳



中津 取子様



佐藤 千枝子様

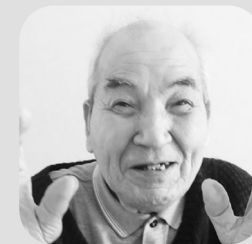


西林 和子様



國富 秀枝様

84歳



新名 春男様



文川 秀子様



明石 香苗様



大熊 怜子様

72歳



植田 春海様